京城新聞

●日本の牛疫と韓牛との關係

京城獸醫學士 原島吉三郎

本年七月上旬日本に牛疫發生し爾來各地に蔓延して其勢猖獗を極め底止する所を知らざるの現況にあり而して其の最初發生せしは韓國より輸入したる牛畜にして其系統を逐ふて所々に發生せしを以て韓國は牛疫の病源地と認められたり之れ當然の解釋なるが如しと雖も深く其原因及系統を探究せずして速諒を下されたるは頗る遺憾とする所なり由來日本の牛疫と韓國の牛疫とは密接の關係を有し既往日本に於て流行したる牛疫は其原因多くは韓國にありしが故に今回の發生も亦例の如く韓國より胚胎したるものと見做されたるも故なきに非らざるなり然るに往時の韓國と現時の韓國とは大に其趣を異にし日本の保護と誘掖との效果により文百事革新の途に向き其の大勢に隨伴して獸疫に對する警戒及防疫の計畫も着々と歩を進め來りたれば猛烈なる傳染性を有しかも斃死の夥多なる牛疫發生すれは之を知ること容易に特に先般日本に牛疫發生以來當局者は周到なる注意と嚴密なる調査とを勵行し鋭意防疫の方向に力を注がると雖も獨り咸鏡北道會寧に於て七月十一日より七月廿五日に至る迄十三頭の牛疫發生の事實を認め而して右牛疫の發生したる會寧は韓國の山邊僻陬の地なれは同地方より日本に活牛の輸出なければ此地の牛疫は今回日本に發生したる牛疫の原因にあらず然るに日本疫の病原は何れに在るか大に之か研究を要し吾人は之に先ち目下韓國に於て牛疫の無きを保證せん爲め左の數言を費さざるを得ず

第一 韓國の牛疫

韓國は由來農國にして所謂農本立國主義なるは全國到る處田畝の耕耘開け五穀の産出に富み農民は國民の大多數を占むるの事實に徵して明なり而して其の農法たるや日本の如く手鋤的農法にあらずして牛耕を用ふる粗放的農法なり從て農家は戸々牛を畜養して耕耘の用に供し村落田野牛畜の影を見ざるの地なく附大の土地と雖も必らず牛耕を用ふるが如き現狀なるを以て牛畜の數は極めて多く政府は何等の保護奬勵を爲さざりしと雖も農業上の必要に迫られ自然に牛畜蕃殖の方法進歩し其体格特質性能に至る迄優等の品性を産するに到れり韓國に於ける牛畜の需用は啻に農業上のみならず食肉上及運輸交通の二大資源たり即ち當國民は肉食を好む習慣ありて冠婚祭祀典禮には必らず肉食を用ひ又常食として之を嗜み如何なる場合に於ても副食物中第一位を占め食膳に上らざるなく殊に年末歳暮の贈物の如きも牛肉を以てするを例とするが如き習慣あるが故に當國に於ける牛肉の消費は莫大の額に達し京城一都のみにて一ヶ年屠牛數一一〇頭に達す其の他各地に於て屠殺し食用に供する牛數は統計不備にして其實數を詳にする能はずと雖も其數多きを推知するに足るべし前述の如く京城二十萬人に對し十万頭の巨數に達するの割合なれども都會以外の地にありては生活程度低くして食肉の需用は到底都會の比にあらず故に假りに其の二分の一と見做すも尚ほ五萬頭の屠牛あり牛肉の消費も亦莫大ならずや加ふるに韓國は到る處道路不良嶮岨にして交通の便を欠き車輪によりて物資の運搬を營むこと極めて困難なりしが爲め韓人は背に重荷を負ふて運搬するの習慣ありて各地到る處に擔軍（韓語）なる者ありて背に簡短なる擔具を負ひ之に物資を積載して能く遠きを致す然るに重大巨額の貨物は之に依りて運搬する能はざるが故に多くは牛背を藉りて貨物を輸送し或は牛車を輓かしめて農作物の運搬を爲す等運輸上牛力に於ける運輸交通の機關は少數の馬匹を除くの外主として牛畜の力に頼るものと云ふも過言にあらざるなり斯の如く韓國に於ては牛畜の農業食肉及運輸交通上の資源たるを以て若し牛疫を發生すれば忽ち農耕を阻害し田圃荒れて五穀豊らず家を破り産を傾け其の慘害の農民に及ぼすの程度は眞に酸鼻に達す加之運輸交通を妨け物貨の缺乏價格の暴騰を來して商工業を澁滯せしめ食肉供給の源を杜絶し國民唯一嗜好品の缺乏を告ぐる等直接に現はるゝ影響及損害は頗る大なるを以て韓國人は牛疫を恐るゝ念深く牛疫一度發生すれば忽ち四方に喧傳して其地方に一大恐慌を來すを以て之を知ること容易なり然るに目下何れの地方に於ても斯る事實を認めざるを以て韓國にては當時牛疫なしと斷言するを憚らず（未完）

●外國貿易旬報

（八月下旬關税局調査）

區別	本旬 本年分	本旬 前年同期
輸入品價	三四一、〇一九	四〇二、五六三
輸出品價	一、一八六、六七一	一、〇六〇、一二八
合計	一、五二九、六九〇	一、四六三、六九一
輸入超過	—	—

本年貿易額の港別左の如し

港別	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	五五、七六八	二六四、四五五	三二〇、二二三
釜山	七七、七〇四	四三〇、九〇八	五〇八、六一二
元山	三三、〇三〇	五六、二八四	八九、三一四
鎮南浦	五三、六二三	一一七、二〇二	一七〇、八二五
京城	五三八	一八六、五四四	一八七、〇八二
群山	二三、三二八	二六、六五一	五〇、〇二九
木浦	二三、三七八	二六、六五一	五〇、〇二九
馬山浦	一〇、三九〇	一〇、一七九	二〇、五六九
清津	—	六、一七九	六、一七九
城津	八、三二六	五、一七九	一三、四七六
新義州	四三、二〇七	四三、〇九九	八六、三〇六
計	三四一、〇一九	一、一八六、六七一	一、五二九、六九〇

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

前年一月以降本旬迄の累計

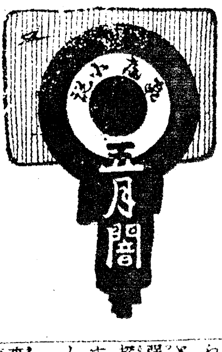
港別	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	二、三〇一、五九九	一一、八九一、四二二	一四、一九三、〇二一
釜山	二、二九〇、五〇九	五、五〇一、五三三	七、七九二、〇四二
元山	七六六、一一五	一、七九二、三八八	二、四九八、四〇三
鎮南浦	五八八、六六六	二、三九三、六六五	三、四五二、三三一
京城	一、一〇七、二二三	三、二七七、五一八	四、四〇一、二三一
群山	一、二〇九、三〇七	四〇四、二〇三	一、六一三、五一〇
木浦	七七九、二〇一	六四四、二六九	一、四二三、四七〇
馬山浦	一五七、八二三	一五五、四二三	三一二、二四六
城津	一四三、五〇三	三五八、六五一	五〇一、一五四
新義州	二一八、八四〇	六九七、四九一	九一六、三三一
計	九、五七六、七〇三	二三、九七九、七九八	三三、〇五二、五〇一

輸出重要品表

品名	本旬 本年分	本旬 前年同期
	圓	圓
米	一四〇、五六三	一四四、六六六
大豆及小豆	五九、八六六	二〇、〇三三
鮮魚乾魚鹽魚	一、九五一	一〇、八三三
牛皮	三、四〇四	一七、〇八八
人參	—	八五三
棉花	一〇	四六四
生牛	三、八〇七	五五、六七二

●賊徒討伐狀況

△咸鏡南道陽德守備隊の下士斥候は八月廿五日五柳洞西方約二千米突樂峴洞にて二十の賊と交戰三十分にして三名を殪し釜山方向に擊退せり△廣州分遣隊の下士以下九名は八月廿六日夕長枝洞にて約十四名の賊と遭遇三名を四散せしめたり賊の死一鹵獲品小銃二△咸鏡南道咸興守備隊歩兵下士以下十名は八月廿七日東豐里附近にて約六十の賊と交戰し一時間之を下佛山方向に擊退せり賊の死十二鹵獲品銃三刀一雜品若干あり△忠清南道洪齡憲兵分遣所憲兵補助員五名は八月廿五日北西約三里半にて宿泊中の賊三十七を夜襲し之を潰亂せしめ其三を殪し三を捕ふ銃器十二刀一雜品若干を鹵獲す



（九） 川合柳葉

れ君も不安ながら弱味を見せじと、「何か御用がれ有りなさるんですか。」と、二足三足後戻其人の様子を見れば、背のスラリと高い、色の白いきり〳〵と引締つた男子らしい顔で、月はありながらも夜目には確とは分らないが、[illegible]形の帽を戴き、身には黒地の着物に羽織を着て



年と三十位。山川は、其顔を凝乎と見て莞爾と笑ひ、「なあに、用事があると云ふ理ぢやないが若いに似合はないれ前さんの度胸に惚れて顔が見たさに呼び留めたと云ふ理さ。」「では今の様子を御覧なさいましたか……然うですか、娘の癖に生意氣な所爲をしてれ恥しうございます、シテ貴方は何方でございます、もう今の様子を見られたからには、假令貴方が鬼であらうが佛であらうが未練に逃げ隱れは致しません、煮て召すとも燒いて召すとも御存分になすつて下さいまし。」と、沈着拂つて婀娜と笑つた妖艶さ。「イヤ宜い覺悟だ、己れに見られたは運の盡き、悪事を悔いた天罰と諦めて、尋常に縄にかゝるがいゝ……と云つたら色も香もない殺風景だが、豈夫那様野暮を云ふ男ぢやないから安心するが宜い、だがれ前さん一体これから何處へ行きなさる積りだね。」と、問ひかけた。強くは云つたもの〻、若しや我身の悪事を探る警吏などではあるまいかと、一方ならず氣を揉むだれ君は、騒立つ胸を漸く撫で下し。「豈夫とは思つたもの〻、年貢の納め時が來たかと、實は吃驚致しました、が粋な貴方の御言葉で辛と胸が沈着ました、御覧の通りの阿婆摺女、何處へ行くと言ふ目當てもありませんが、どうせ此邊でマゴ〳〵爲ても居られませんゆゑ、これから暫らく京都にでも行つて、順しく何處へ潜むで居やうかと思ひます。」「なる程[illegible]げて、邪魔になる奴を片付けた上、これから好いた情夫と、京都の空で思ふ存分遊ぶなんかは、眞面目な奴等の夢にも見られぬ極樂世界で、なら事なら男冥利に少しの間でも那樣境涯に肖りたいものだ、アハヽヽ、しかし京都は何方へ行きなさるか知らないが、南禪寺の片邊で俳句の宗匠と聞きなさりや、大抵直ぐ分ります、これを御縁に御夫婦連で些と遊びに來出でなさい、面白い浮世話でも爲ませうよ。」「ホヽヽヽ、冗談にも程がございます、なんで私に情夫なんかありませう、先刻れ聞きになつた通り、これから這樣阿婆摺女でも相手になつて呉れる人があれば、探して見やうと思つて居ります、何處かに似合の方でもありましたら、れ救け序に御周旋をれ願ひ申します、では旦那もこれから京都へれ歸へりでございますか……ではどうぞれ可厭でございませうが、れ連れなすつて下さいませんか。」「一緒に歩行て怒る人さへ無かつたら、是非一緒に歸りませう……オヤ又點々降り出した、サア可厭であらうが此傘の中に入りなさい、話ながら歸りませう……初心らしい何の遠慮が入るものか。」と、グッさた君の手を携つて、相合傘に歩み出した。

廣告

▲募集▼

一外交的事務員 數名

右募集致候に付希望の方は本社營業部へ至急申込あれ

九月 京城新聞社

診療に從事す

統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院内科主任 池田季雄

池田内科小兒科醫院

電話開通 四九三番

陸軍御用達 諸官衙 材木薪炭商 並ニ富士用達部

主任 富士金光

京城明治町二丁目

電話開通 五九二番

高岡洋服店

京城明治町壹丁目

公告

今般事務所を京城本町一丁目八十八番戸増本好三郎方に設置致候間此段公告候也

九月一日

京仁龍左官同業組合

●移轉廣告

從前ノ家屋ハ狹隘ノ爲メ今般旭橋際太陽舘跡へ移轉シ一般患者ノ診療ニ應ズ

入院隨意 病室ノ設備完全セリ

●本院ノ特長 梅毒新療法

梅毒病治療ニ付テハ從來服藥ハ勿論注射外科手術等ニ依ルト雖モ短期間ニ根治スル事殆ント絶無ト謂フベキ現下ノ狀体ナリ茲ニ於テ本院ハ確實ナル新療薬法ヲ發見シ僅カ二週間ヲ以テ如何ナル病毒モ根治ス

龍山旭橋際（太陽舘跡）

龍山病院

院長 藤永策實

電話一〇〇番

右の者今般解雇仕候に付自今當場に一切關係無之候

右廣告候也

九月二日

雇人 西島[illegible] 同 向井[illegible]

荒井牧場

衛生消毒勵行

殘暑の候各位益御清榮の段奉大賀候今回同業者一同申合の上各床完全なる消毒器を設備し九月一日より消毒勵行致す事に致候間各位御安心の上倍舊の御引立を奉希上候

追て壽町一丁目組合事務所に衛生員を設け日々各床を見廻らせ候も御客樣方に於て御氣附の節は同事務所へ御一報奉願上候

京城 理髮業組合 一同

山田流 生田流 琴曲 新式 音譜 教授

南山町三丁目九十六番戸

伊藤靜代子

葡萄酒・ブランデイー・洋酒・ウヰスキー・キリンビール・シャンパン・タンサン水・洋菓子・果物カン詰類

卸小賣

洋酒食料品 米穀雜貨 洋煙草類 金銀屬美術品 直輸入商

京城本町二三丁目

辻屋

本店電話二四八 支店電話三六六

제54호 1908. 9. 5.

在韓邦人の身分

敬愛する在韓十五萬の邦人は日本帝國の官憲より如何なる待遇を受けつゝある乎、帝國の憲法に依りて司配されつゝある乎、一度思を玆に致して現在の境遇に及べば甚だ憫惻に堪へざるものあり、憲法治下の民に生れながら韓國に移住したるが爲に其恩澤に浴する能はず、等しく憲法治下の民として代議士になる能はず、代議士を選擧する能はず、法律の如きも帝國に行はるものとは異なれる特種の法律に服從せざる可らず韓國政府よりは外國人の取扱を受け、帝國の官憲よりは憲法以外に特別の取扱を受く、帝國々民として自己が現在の資格を自覺するに於ては一種異樣の感なくんばあらず、若し夫れ官憲の壓制を受るを假定せば之を訴るの道なきに非ずや、之を厭へば經營を半途にして祖國に歸るの外なし、然らざれば遙に玄海の彼岸を眺めて祖國に於ける同胞の幸福を羨望するのみ、斯の如くにしては大陸經營の先驅者たる移住邦人の雄氣を沮喪するのみならず、其雄々たる雄圖を消磨せしむるに至る、之れ豈帝國が對外經營の本旨ならんや、人或は云はん、韓國は日本の國家的殖民地に非ず唯經濟的殖民地と見做すべきのみ、未だ帝國の憲法を實施するの機に至らずと、余輩も亦韓半島を以て純然たる日本の國家的殖民地と見做すものにあらず、然れども日韓の關係は世界列國に例なき關係にして其因緣の深きは二千年來の歷史は之を證明し、加之帝國の自衞上帝國々民の移住は正當にして亦之を奬勵せざる可らず、列國も既に之を承認せり、帝國の領地には非ざるも一の殖民地と見做すも敢て僭越に非ざるべし夫れ斯の如く今後尙ほ益々移民を奬勵せざる可らずとすれば、移住邦人に對して祖國同一の憲法法律を施行して其人權を尊重するは至當なり、韓國政府より外國人の待遇を受け、帝國官憲よりは帝國の憲法法律を以て待遇せられざる一種曖昧なる取扱を受くるは實に不可解の極なり、日韓の關係が外交時代にして萬事在留民の利益を伸暢せらるゝならば尙ほ忍ぶ可し、例せば昨夏以來暴徒の爲に非命の最後を遂げたる幾多同胞の如き未だ何等の賠償も受けず殆ど泣寢入の姿にあらずや、帝國官憲にして等閑に付して顧ざれば之を訴る所なし、民長官選の如きも然り、民團法の施行以來漸く二年にして未だ實際の得失分明ならざるに一片の府令を以て之を強行せんとす、畢竟之等も在韓邦人の資格人權の曖昧なるより來れる弊害なり、斯る問題に遭逢する毎に不安を起し、祖國憲法を延長して在韓邦人に及ぼし、憲法治下の民として其權利を充分に闡明することの必要を痛切に感ずるなり、佛國西印度諸島の殖民地に於ては憲法を適用し代議士を選出し國政に參與するの權を與ふ、韓半島は帝國の領地ならざるも佛國の西印度諸島に優るの關係と因由を有す、徒に領地に非ざる云々の純理論をなす可らず、故星亨が米國駐在公使を辭して代議士たらんとするや、華盛頓駐在中の年月を加算せざれば被選擧資格なしとの議論ありたりき、然るに傲岸不屈の星亨は憲法は治外法權の下にある公使館にまで延長すべきものと主張し遂に選擧資格を得たり、韓半島には鞏確なる地盤を有する十有餘萬の移住邦人あり、憲法の延長すべきは當然の事たり、徒に純愚の學究的論議を以て之を排することなく、速に移住邦人の身分を闡明せざる可らず。

●漢城便り

今の三猿侯當年の井上聞多君も寄る年には勝たれず今回激性中風症に罹られ一命の程も無覺束との事に御座候右に付伊藤公が見舞の爲第一に病床に駈着けられたるは流石に少年時代よりの友情も見えて人をして何となく由々敷感じさせ申候

▲自然の勢力は元老以上に有之候如何に驕慢なる元老と雖も自然の宣告には默して服するの外無之候井侯の運命は軈て藤公の運命に有之候藤公の運命は又山侯の運命に有之候

▲東洋拓殖韓人創立委員等は近々東上致すとの事に御座候韓人の性質を全く了解せざる東京の先生達が此機を利用して韓委員等に特設の御馳走を浴びせ且つ兵器所や造船所を見せて日本の好意と偉大とを誇らんとするは愚の骨頂に有之候是しきの懷柔にて韓人の滿足を博し得るとせんが韓國は疾くの昔に半島の親分と相成居たる事と存候

▲五十萬圓を要する京城博覽會は大博の延期と共に中止若しくは延期せらるべきものと存候暴徒討伐の費用さへ容易に支出し能はざる韓政府が半百萬圓を要する博覽會を目論むとは無謀の極と申すべきものと存候

▲京城民團議員の總撰擧も追々切迫致候余輩は選擧民諸氏が必要上より將た德義上より前議員を選出すべきは當然の事と存候

▲官選令に對する今日以後の公爭は帝國議會に於て爲すべきものに御座候勝敗の數今より明ならずと雖記者は民選主義の勝利を信じて疑はざるものに御座候否勝利を收めんことを必死に勉めんとするものに御座候

東京電報

▲井上侯の容態

井上侯を診察せし橋本博士の談話に依れば回復絶望にあらざるも重體にありと云へり(四日發)

雜報

●丸山前總監慰勞金　韓國政府は丸山重俊氏が警察顧問以來韓國警察改善に努めたる勞を慰するため金五千圓を贈る件昨日の閣議にて決したりと

●丸山知事出發　今回島根縣知事に任せられたる前警視總監丸山重俊氏は既報の如く本日午前八時三十分南大門發の直通列車にて出發赴任の途に就かるゝ筈なり

●金議長の叙勳　伊藤統監と共に渡日したる中樞院議長金允植氏は今回我皇室より勳一等旭日大綬章を贈與せられたり

●金允植氏一行　伊藤統監と共に渡日したる中樞院議長金允植氏一行は二日午後一時新橋を發し京都に二泊の上歸途に就かるべしと

●拓殖委員統監邸參集　東洋拓殖株式會社韓國側創立委員三十三名は來る七日午前九時より統監邸に參集し曾禰副統監より同會社創立に關する演說を聞く由にて當日は[illegible]川上書記官と共に列席すべしと

●拓殖委員の出發期　東洋拓殖株式會社韓國側委員は別項記載の如く七日曾禰副統監の演說を聞き同八日川上書記官立花事務官小山光利氏等に率ひられ出發する事に決定せり

●皇族の教育事業　過日の皇族會議に於て敎育事業として皇族學校を設立すべしとのことは既報せし如くなるが同學校は中學校及び小學校の二校にて明春を以て愈よ建設することゝし之れが經費は皇族中より俸給百分の二を醵出せしめ又た寄附を以て之に充つる筈にて既に寄附金の申込ありたるは完興君李載冕氏と永宣君李俊鎔氏が一万五千圓、完順君、完平君が各一万圓、昌山君、義陽君が各五千圓なりしと

●朱安製鹽場の擴張　朱安天日製鹽場は從來二町步餘の鹽田を開拓し試驗中なりしが今年の如き雨天續きにて凶作なるべきに既に十餘万斤を製出するを得確かに此の國にては天日製鹽成功の見込立ちたるに依り政府は更に二十餘町步の大鹽田を增拓するに決し今や着々工事中にして此れがために同鹽田所在地たる朱安十井里の韓民は毎日二百人宛工事に使役する事となり土地の繁榮を喜び居れりと云ふ

●安泳仲の入京　八月卅一日を以て濟州島居住の制限滿期になれる朴泳孝は本年中歸京せざるべしとの事は曩きに報道したる所にして其の後一二新聞紙には急に入京するべしと傳へられたるも確聞する所によれば曩に報道したる如く本年末か或は明年春に入らざれば歸京せざる由にて其の腹心の手分たる安泳中は昨日仁川より入京せりと云ふ

●非行官吏の免官　內部書記官李範益は農商工部に在職中同部書記官邊永鎭同主事李宅鎬等と共謀し鐵山及び人蔘等に關し狡猾の行爲ありし事發覺し右三名共諭旨免官せらるゝ事となれり

●露人の見たる安東縣

(ノーウオエウレミヤ所載)

ノーウオエ、ウレミヤ通信員は安東に於ける日本人の勢力を觀察して左の如き通信を爲せり

我等安東を訪ふ者は彼の戰爭以來既に新日本なる名稱を附せらるゝに至りし韓國の狀態を想像せざるを得ず蓋し韓國にて遭遇せし如き萬事は今や鴨綠江を經て安東にも行はれつゝありて人々の話頭に上る問題は韓國問題ならざるはなし日本人は儼然として自國の文明の進步を唱へ韓國に於ける日本の文明扶植の光榮ある將來の事を大言し居れり日本が文明を扶植し居る其の古鄕より脫走し來れる朝鮮人は恰も喪家の狗の如くに市中を徘徊して日本に對する不平を鳴らし居れり又日本人の爲に全く壓迫せられたる支那人は商業上に於ける自分等の未來の運命を悲觀せり歐洲人の事に關しては何等耳にする所なし其の門戶開放は一般滿洲地方と同樣にて安東に於ても唯だ是れ日本人の爲めの門戶開放なり日本人は安東に於て莫大に廉き稅借地を得て先きの所有者たりし地主の支那人は今は高價なる地代を拂ひて其の地を借用し居るに至れり戰後日本人は支那人の家屋取拂ひの爲めに一室に就き十五圓乃至二十圓を支拂ひたるに現今支那人は其の室を借るゝに一箇年四十圓乃至五十圓を支拂ひ居れり清國官憲は安東に於て阿片の喫烟と賭博とを禁止せんとしたるも日本側にては支那人の爲めに之を公許して莫大の收益を得んことを期せり現今阿片の喫烟室七十箇所もあり又賭博遊戲場も尠なからざるなり云々

▲豫　告▼

韓國經營上偉大なる貢獻を爲すべき使命を有する東洋拓殖會社は近々成立せんと致し居り候、在韓十有五萬の吾人同胞は申す迄もなく千有餘萬の韓國民も等しく同會社の成立を歡迎致すことゝ存候、依つて本社は此の際を機とし、日韓諸名士及び實業家が同會社の事業に對して懷抱せる高見を叩き順を追ひて日々の紙上に掲載し以て同會社關係者及び公衆の參考に資せんとするの考へに御座候、冀くは掲載の日を俟ち幸に精讀之あらん事を

右謹告仕候

京城新聞社

●平壤鑛業所近況　平壤鑛業所開鑿當初の主なる目的は年額三四萬噸の炭を德山海軍煉炭所に供給するにありて其計畫にて採炭し來りたるも海軍省に於ては各方面の試驗未だ結了せず去る五月にも見本炭の送付を請求し來る有樣にて之れか否やの決定するまでには多少の時日を要すべし又各方面の報告に於て凡て良好なりとするも本年は豫算の都合あれば明年度に讓らるべし此等の關係にて同鑛業所に於ては採炭額を減じ昨今は一日平均百五十噸內外を採掘し只濟韓の需用のみに充て居れり而して是までは水準以上の炭層のみを採るの方針なりしも愈々明年度に入り海軍煉炭所に供給するや多になり且つ一方各地に於ける販路擴張せらるべければ其需要は益々增加すべし左すれば鑛業所に於ても夫れ相應の準備を爲すの必要ありとて目下ボーリングを使用して水準以下の炭層を調査し居れり

●仁川の官選態度協議　仁川民會議員は今日迄愼重なる態度を持し來りたるが前項記載の報告を終り直ちに協議會に移りて最後の態度を決定する筈なりしも酒席の事なればとて單に報告にのみ止め慰勞宴に移り協議會は他日に讓つることゝなしたるが口に愼重々々と唱へながら其裏面は將に軟化し終り有耶無耶の內に葬らんとするにあらざるかなど一部の人士は憂ひ居れりと

●面接委員報告會　既報の如く昨日仁川委員の報告會を催したるが當日は恰かも委員會慰勞會と衝突したるもの民役所に於ける報告を止めて直ちに一山樓有志集會の席に於て足立委員長より昨日所報の面會挨拶及副統監は同府令發布の一理由として拓殖會社成立の結果民長を官選となし置く必要あるか如く語られたりと曖昧なる報告を附加したるが昨紙記載の所謂新聞に掲載すべからずと云し一語は即ち此理由に該當するや否やは暫く疑問なるへきも拓殖會社が成立すれは何故に民長を官選となすの必要ありや之れ何人も聽かんと欲する所なるべし

●漢城府の移轉　西大門外なる漢城府は今回光化門通りなる前法部廳舍に移轉する事となり本[illegible]より引越しに着手すべしと

●副統監招待と特別車　仁川官民の主催に關る副統監以下を招待し舟遊會を催す筈なるが其の模樣は既報の如くにして只南大門より副統監乘用の爲め特別列車を連結する筈なりといふ尙來賓數は五十四名

●列車の臨時停車

南大門驛午後十時二十二分發仁川行終列車は是迄龍山驛に停車せずして通過せしが鐵道管理局にては同地來往乘客の便利を圖り當分の內同驛に一分間停車せしむることとなせり又南大門驛午前七時十分發(龍山驛發午前七時二十分)新義州行直行列車は京義線臨津江驛通過の所當分の內同驛に一分間停車せしむることゝなり同江は目下本橋架設工事中なれば之に伴ふ來往旅客に便利なるべし

●仁川港浚渫調査　仁川港灣築港の準備調査として建築出張所に於て昨年來海底地質調査を續行し居れるが同港に於ける築港は久しき問題なるも今速急に解決せらる模樣なく決定さるゝとも其の完成は數年の後にあらざれば見る能はざるを以て仁川有志者は昨今頻りに曩に商業會議所より其筋に請願せる同港浚渫船を常置し常に港內を浚渫せしめて目下港外に碇泊せる汽船を入港せしむる計畫を立て目下大阪商船にては錦江丸の船長をして之れが調査をなさしめ居れりと云ふ

●警備電話架設完了　長箭警備隊間警備電話の測量は此程完成せり

●選擧名簿縱覽　京城民團にては選擧名簿作製完了せしに付本日より選擧關係者の參考に供せん爲め縱覽を許すべしと

●賊徒討伐情況

△慶尙南道德山守備隊特務曹長以下十名は八月二十六日天頃附近にて約三十の賊を潰亂せしめ其四を殪す△全羅南道樂水亭分遣隊軍曹以下六は八月三十一日光州西南六里にて賊約五十を攻擊し其二十一名を殪し火繩銃十二、三十二年式軍刀及雜品若干を鹵獲す△全羅南道維鳩憲兵分遣所憲兵三名及補助憲兵四名は公州郡ケンセンリに於て約四十の賊を擊退し其四を殪し銃器二彈藥雜品數點を鹵獲す

●大豆の出廻に就て　昨今仁川市場には大豆の出廻夥しきが某當業者の地方視察談に曰く從來暴徒及海賊は地方に於て韓農より穀類を徵發し其一部は自己の食用に供し他は韓商の手に賣渡すを以て韓商等は穀類買出しに非常の利便を得ると共に尠からぬ利益を得る由從つて昨今仁川市場に廻荷する大豆の如きは其半は暴徒海賊等の手より出てたるもの多からんと

●遠藤經理部長歸京　北韓方面に於ける經理事務視察の爲め出張中なりし軍司令部經理部長遠藤主計監は二日夜歸任せり

●岩崎少將來京　曩に統監府附たる岩崎海軍少將は特任後引繼の爲め三日午後八時三十分南大門着入京せらる

●木內次官の歸期　上京中なる木內農商工部次官は本月中旬歸任の豫定なりしも拓殖會社創立に關する事務豫定に後れたるを以て從つて本月下旬歸任する事とせりと

●俵學部次官の歸國　俵學部次官は釜山なる兄俵角治氏胃癌にて福岡大學醫院に治療中一昨日午前八時死去の飛報あり昨夜十時四十分南大門發列車にて福岡に向け出發せり

●金尾代議士　廣島縣選出衆議院議員金尾稜嚴氏は一昨夜入京不知火旅館に投宿す

●間島學事視察　學部會計課長金演奎及事務官柳田節の兩氏は間島に於ける學事視察の爲め昨日午前七時十分南大門發の京義線列車にて出發したり

●仁川の切手賣上高　八月中仁川郵便局郵便切手賣上高は金四千圓にして例年の同月に比し一千圓の減少なりといふ

●近事片々

▲選起　競爭の評判ありし東拓委員も先づ選定濟となりし據梅次第は揃ひの東上也

▲副總　裁は此中より選定さるゝか將た別に選定するか何れ希望者の多き事なるべし

▲準備　猶か將た總裁か[illegible]用でもあるまし寧ろ掛離れて閔泳徽は如何でムる

▲韓國　一の分限者を擔ぎ出すも或は妙ならん何れ閔泳徽の如きは大株主たるならん

▲渠は　支那好きにて上海に移住するとの噂さへあり副總裁として日本的洗禮は如何

▲內部　大臣宋秉畯は內部官吏一同に對して笠冠廢止の嚴命を下だせりと頗る英斷也

▲不服　を唱ふる官吏も隨分あるやうだが唯之れ陰でブツブツ云ふ耳程なく止まん

▲實際　事務を執るには冠笠は大不便だ從て情弱に流る宋君の英斷總て他部にも及ばん

▲新行　は宋君の長所韓國の現在は革新の時此際宋君の鉞は缺く可らざる者ならん乎

▲伍廷　芳米國より召還せらるべし之れ米清同盟論に依り日本の感情を害せし爲也と

▲廷芳　偶嚇きて多少評判男になれるに召還せらるゝとは渠自身には嘸や遺憾ならん

▲余り　傍若無人の振舞は淸國人が勢が付くとすぐやるが是が畢竟長所にして短所也

▲大博　覽會の延期に就て東京市民は反撥して私立博覽會を開設せんと力味居れり

▲果し　て事實ならば大に嘉みすべし之れ一の東京繁榮策の上々なる者大に憤起せよ

▲五月　の鯉の吹流し口先ばかり腸はなしとの譏を受けざる樣其實を擧げざる可らず

▲桂內　閣の財政計畫は意外に列國の信用を博して日本公債は益々上騰しつゝある也

▲併し　之に慢して驕る可らず如何なる打擊を側面より受るも知る可らず注意肝要也

▲駐英　大使終に加藤高明氏と確定せるが如し外交界の花形其人を得たりと云ふべし

▲小林　外相辭を卑して君の外務大任に當る者なしと懇款に招請して承諾せしめしと

▲大隈　伯く桂侯の財政計畫を評して曰く無い金は使はれぬは當然なりとは甚面黑し

▲無い　が意見の總仕舞節約主義を取りて整理する外策なし是で日本財政も回復せん

▲出羽　の長者本間氏詐謀師と見誤らる質素の風体にて多大の買物をなせしが爲也と

▲本間　樣には及はないがせめてなりたや[illegible]に歌はる昔より奧州の富者

新柄ゑり地帯あげ其他種々
御散歩御來觀被下度候
ゑり德商店
京城本町一丁目

●莫蓮花(二)

話變はつて女の國許の兩親は去年の二月娘が何へか出奔せしまゝ其の後何の音沙汰もなきより不孝の娘よとは思ひ居りしも流石は親心の猶に不出來の兒程可愛く心當りの家を其所等此所等と探ねしも更に知る由なく此れも何にかの緣因づくと諦むるの外なかりしが其の中或る人の風說に娘は朝鮮のとある立派な韓人の家に下女奉公を爲し居るとかのことを耳にしたれば兩親は飛び立つ許りに打ち喜び早速說諭願を愛知警察署に依賴し愛知警察署よりは更に京城北署に傳へたるより北署にては同女の主人韓人を呼び出し懇々國許より依賴の旨を說し一日も早く歸國せしむるやう諭したりしに韓人は如何なる魂膽からかは知らねども更に素知らぬ風を裝ひ其のやうな女は自分方には居らず幵は多分人違なるべし尤も牧野ノブといふ日人の下婢は雇ひ居れど野々山なる姓とはまるで似もつかぬ語音他を御調べになるが宜ろしかるべしとの白々しき申し立なるより警察にても一時は幾に思ひしが更に取調べし所愈々以てソレに相違なかりければ尙嚴しく韓に迫り本人の歸國を促せしに韓は飽迄も人違ひなるを主張して更に其の實際を白狀する模樣なきより警察にても今に其の韓の强情なるを持て餘まし居るといふ

抑說爰に當野ノブと不思議な緣故あるといふはブンの下女奉公に住み込み居る韓昌樂方には其の以前ノブがヤハリ下女として住み込み居りして次には豫てノブが關係し居りし邦人の軍人と韓人の軍人とが又ノブの色香に飽き果てゝブンの婀娜姿に迷ひ居るとの事なるがさるにても前述の如くブンの主人公韓が斯やうにブンの歸國を拒み居ることの何等か其の間に魂膽の存するなるべし詳報は何れ追て精探の上掲ぐることゝせん(了)

●高靈附近の狀況

慶尙南道高靈は郡衙所在地にして四方山を圍び洛東江枝流の川岸に添ひ戶數三十四戶の小部落なるが附近一帶の地は目下平穩なり而して北方約一里なる陝川郡梧谷に一の鑛山ありて目下之が發掘事業に從事し居れり該鑛山事業に從事する日本人は支配人一大工一工夫九計十一名を以て着手し已に水車の準備等も完備し工夫の語る處に依れば昨今發見せし鑛脈より察するに前途有望なりと云ふ此鑛山は元韓人の發見せし處にして昨年十二月頃迄發掘し居たるも鑛坑を直下に掘り下げたる爲め永久事業として發掘の難きを信して一時停止の姿となりたるより日本人の事業に屬したるものなりと云ふ又高靈を距る北方約三里伽耶山中に海印寺と稱する有名なる大寺ありて該寺には僧侶凡百八十名居住し居り其の僧侶中には大工左官炭燒瓦燒等種々なる職人兼業のものありて各職業に從事し居れりと云ふ加之先年東本願寺京城出張所より日本僧侶一名教導として同寺內に居住し居りたりと又市場として冶爐に五日每に開催して晴天なる時は四五百の韓人來集し賣品は米、牛肉、豚肉、鷄、大豆、小豆、干魚、薪炭、雜貨等にして稍盛なりと

●外人の科料

京城在住外國人が治外法權を利用して其邸內に開帳せる賭博を巡査門外に巡して之を檢擧したる事件に關聯し在京城獨乙總領事は同國人「ダブリユープラスター」を被告とし審問せしに同人は賭房給與の事實を否認せしも昨二日證人取調の後裁判長は欠席判決をなし被告人を百馬克の罰金に處し若之を二周間內に完納せざれば十日間の拘留に換ふる旨を宣告す

●大師堂の怪物

近頃本町九丁目高野山大師堂に怪物が而かも二頭現はるゝとの噂さ專らなるより此の開けたる大御代に怪物とはソリ怪しかるぞとかなと好奇心にも噂さの怪物を見屆け與んと三日夜弦月西に沈む頃大師堂指して出掛けて見たが未だ宵過ぎて間もなき頃とて新町の娼妓やソンジヨンコラの婆さんや淫賣婦などが熱心に祈誓を凝らし居つて只で線香の煙が狹い堂內に立籠り居るのみにて如れと思ふものも見當らざればコリ何者か言觸らしたるものに違ひあるまいエー馬鹿々々しい無駄な時間をつぶした歸りて金儲けの夢でも見た方が餘程得だと足を向けたがイヤまて〳〵兎角怪物なんか現る時は昔しから草木も眠る丑滿時とか云ふから其丑滿時まで待つても見屆けねば折角來た甲斐がないものと思ひ返へして時の來るのを待つ中れ祈りの連中は駒下駄の音優しくカラコロと歸り行く跡は住寺か寺男か何かは佛前の燈明を消して雨戶を締めモー和尙は床に入つた時分と思ふ頃西の方に二つの黑い影が現はれて而して大師坂とか云ふか西四軒町に通ずる坂を登りて段々近づいて來るハテナ此れか知らんと恐る〳〵身を傍らの叢の中に潜めて其樣子を窺ひ居れば二つの黑影は益々近づき來り潛み居る前を通り拔けて大師堂の門を入りて突當りの勝手元の戶の前に至り戶をポト〳〵と叩けば內より寺男らしきがガラリと開けたので二つの黑影は何も云はずにスル〳〵と這入つたと思ふと又たガタンと締められたと同時に內は時ならぬ術かしき笑ひ聲が屋外に漏れた此に於て兼て噂さの大師堂の怪物とはコレナンメリと合點が行つた扨て此怪物は翌朝まだ薄暗い時分參詣者の目に止まらぬ時分に元來し道を辿りて歸るそうな

●毛を吹て疵を求む

漁樵に金召史(三二)と云ふ後家あり曾て廣州郡の産某に嫁きたるも間もなく其夫に死別れ今は空しく孤枕を抱いて秋風の益々冷なるを覺へ舟橋居住金召史といふ同じ後家の宅に假住居をなし空閨を守り居れるが同洞に阿聖基なる膽のよからぬ男あり或日金召史の家に來り草洞に南宮澤なるものあり今現に裁判所の主事を勤め居りて家產もあり男振りも好し誰れか恰好な女あらば妻にせんと探しつゝあれば行く氣はないかと媒介口に引掛けて勸めたれば金召史は半信半疑にて思案中南宮澤は見合ひをなさんと自ら酒肴を調へて金召史宅に來りたれば金召史も共に席に出で獻しつ押へつして大に愉快を盡して南宮澤は歸りたるを以て金召史も嫁ぐ氣になりたるも兎に角家產の有無及び官職の如何をも探ぐる必要ありとして借家主の金召史に賴み南宮澤方の樣子を窺はしめんと遣はしたり夫れと見たる南宮澤は晝食其他の料理を備へて大に饗應したるも家產裕かなどは眞赤の虛にて裁判所主事なども全くの虛僞なる有樣にて赤貧洗ふが如しとも云ふべきしかば大に驚き早々歸宅して此狀況を物語りたれば金召史も亦驚きて直に破談を申込みたるに南宮澤は折角手に入らんとする玉を失ひたりと落膽一方ならざりしも元が何等か魂膽ありてのことなれば南宮澤と阿聖基の兩人は直ちに金召史方に至り召史を捉へて見合の時の酒肴料及び金召史晝食代五百餘兩を辨償すべしと强迫せしも金召史は一向之に應ぜざれば南宮澤は之を東部警察署に訴へ出でたり同署にては金後家を引致し取調べしに右の次第と判りたれば金召史は放還され阿聖基のみ拘引せられ取調べ中なりと

改良會席御料理
本町八丁目
東雲樓

●韓妾一束

差當り書出さんとするものゝ三件あるが爰に韓人の妾となり居れる北部頒化坊居住前陸軍正尉柳允植の妾は生れは肥後の熊本で年はまだ二十を越したか越さぬかの至つて面相の惡い二八盛りなり次は警視廳訊問課刑事の朴泰家の妾にて名は竹山カオ(三七)生れは名にし負ふ長崎の稻佐で年まだ若き十六の頃大膽にも長崎港より玄海灘の荒浪と元山沖の狂瀾とを平氣の平在で乘り越ゑ露領は浦潮に渡りたれど露助には不向きな顏立ちなるより賣れゆき惡く思はしからぬ處よりコレでかアカンツと韓國に流れ込んでヤツとの事で朴さんの妾となりたるなり

●四人屋根より落つ

全羅南道長成郡中泰化(三七)京城南部冶峴統戶不詳金永植(三七)京畿道竹山郡面里統戶不詳李聖七(三七)京畿道利川郡利川統戶不詳樸聖七(四十)の四人は目下南大門通三丁目淸國人義生盛號雜貨商周常貿方家屋增築工事に從事せる職人共なるが昨朝九時過ぐる頃四人共屋根より落ちたりしが幵は運び上げたる瓦の重量に堪へかねて屋根が破壞したる爲なりといふ尤も四人とも少しの怪我にて別狀なかりしはマヅ以て幸といふべし

●朝鮮第一卷第一號

表裝の優美と寫眞版の精麗と記事の豐富と題材の淸新とは今更ら申す迄もなく確かに其の標榜する韓國唯一の大雜誌たるに負かずといふべし本誌重要記事としては『時事評論』『名士の韓國觀』『朝鮮に於ける官民の反目』『民長官御問題に就て』『韓國の富源』外十餘種なるが依例長風先生の議論は時代の趨勢を洞破して餘蘊なく釋尾氏の文筆又世潮の機背を論評して些の遺憾なし其の他各名士の高論卓說何れも有益にして趣味に富み正に再讀三誦の値ありと云ふべし(一部二十錢本町日韓書房發行)



●出齒らんとして喧嘩

南大門外御成町農業中村牛三郎方雇人島根縣平民若松一正(三九)は一昨日午後六時仕事を仕舞つての晩酌に同業者二名と杯を取り換しつゝ飲み居りしが自然と醉が廻つてサノサ節や博多節を謠ひ始めしが其揚句何處へなり出齒らんとせしも金が一文もなく依つて一圓三十錢丈借らんと雇主に强請したるに雇主は之を拒みたるより一場の騷動を惹起し戶外へ飛出すやら怒るやらの處へ巡廻巡査來り取鎭めたり

●仲裁人を毆る

南部鑄洞統戶不詳金昇弼(三八)と南部宮後洞統戶不詳水汲業趙生玉(三八)の二人は一昨夜十時頃賃錢の事より一場の喧嘩を始め双方が髮を摑む胸板を蹴るとふ大立廻り中折柄來合せた若草町一丁目松永喜三郎方止宿辻川嚴(三〇)が二人の喧嘩を見仲裁を試みんとて立ち入りたりしに二人は何と感違ひをなしたるものか茲に鋒台は一轉し却つて辻川はヨボ等二人より亂打されしが此れも巡廻中の巡査が認めて南部警察署へ引渡したり

差押保證金
訴訟印紙料
凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候
京城長谷川町二丁目 和泉法律事務所隣 坂本辰太郎

●三十錢の喧嘩

南部會洞八十統十戶朴龍澤は一昨日午後三時半頃同洞居住金石源なるものに三十錢の貸しがあるのが金の宅に至り之を催促せしが原因となりて金と喧嘩を初めしを巡査之を認め取調しに朴は酒に醉ふて居たれば懇々說諭を加へ放還せり

●龍山本願寺の說教

龍山本派本願寺にては本日午後八時より嚴開教使の說教あり信心の善男善女は參聽せられたし

●南山本願寺說教

本日は土曜日に付例の如く午後八時半より說教あり

●壽座の開場

今回壽座に乘り込むべき新俳優木村猛夫一座は本日着京し明六日より壽座に於て花々しく開場すると云ふ

○(平)○(民)○(文)○(庫)○

▲巡査は佇立して居らないで市中を廻つた方が取締上利目があると思ふ(當局者の耳)▲通信管理局に感心な給仕がある今時の少年には珍らしい記者足下同人の善行美事に就ての材料を上げませうか(勸善生)▲御厚意は謝します併し記者も同給仕が品行がよく親切なのは好く知つて居りますから其の中掲ぐる積です(係り)▲桃山は冬枯の時候に至れば必ず寂れん而り龍山の如き小なる地に遊廓を置くは尙早なり(先見生)▲僕は文官普通試驗をば受けんと欲するものなるが從來の試驗の課題を一冊子にした本は何れにて賣り居るや御手數ながら御教示を乞ふ(一巡査)▲日韓書房に赴きて尋ね玉へ(係り)▲龍山居留民の被害狀況は實際慘憺たるものだ博愛仁慈の士大に憐みを垂れては如何(旭橋)▲貴紙の傘を煩はした白蓮花の菅野ノブ子を昨夜ある所で見ました此旨注進す(小僧)

●天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時)

北又は東の風曇

四日午前六時各地氣象概況 南部沿岸は概ね曇天にして元山降雨せり

廣告

尺八教授
自宅及出稽古
南山町三丁目 日本人俱樂部上
稻本正音

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 大阪 熊本 佐世保 嚴原 五島 壹岐
韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、濟州
日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

巻を改め愈々活動す雜誌界の覇王たり
月刊朝鮮
第貳卷第壹號(九月一日發行)
口繪 韓國皇后陛下、韓國各地小學校長會議、韓國風俗風景寫眞
名士の韓國觀 在韓內外名士十餘名の名論
時事評論 民長官撰に對する在韓居留民團の叫び 菊地長風
●論說 朝鮮に於ける官民の反目 釋尾旭邦 民長官撰問題に就て 法學博士梅謙次郎 農業上より見たる日韓關係 中村農務局長 韓國司法官としての心得 國分檢事總長 韓國の手形に就て 藤井手形組合理事
●漢城人物評判記 民長官撰問題に現はれたる京城居留民團議員 ドクトル
●雜纂 韓國婦人の研究 ヒマラヤ山人 韓國制度通 工藤武城 韓國の弊風を數ふ 本間如因 韓國に於ける工業上の淸人 古河甘笑 鴨綠江十五年間の 金子政太郎 韓客樓記 白山黑水樓主人 菊地長風
●訪問錄 ベンセルを訪ふ、コールブラウンを訪ふ、山形憲兵隊副官を訪ふ、石塚總務長官代理を訪ふ 釋尾旭邦
●文藝 水原行の記 文學士 旭邦 狂言 右夫人 竹運 苦熱詠草 長恒 からくさ集 文學士 中島和子 漢詩、俳句
●朝鮮の富源 韓國の寶母事業 杉原忠吉 韓國に於ける生牛 村木秀夫 韓國側の金融狀態 韓相龍 最近に於ける韓人側の商勢 金鎮玉
●時事日誌 ●朝鮮だより ●風聞錄 ●商店評判記
本誌を手にせざる者は時勢に後る
定價 一冊金二十錢 郵稅金一錢五厘 六冊前金一圓二十錢 十二冊前金二圓卅錢 但右郵稅共
第一卷第一號より第六號まで取揃御注文に應ず
發行所 京城本町二丁目 日韓書房 電話百四十五番 振替口座九〇五九番



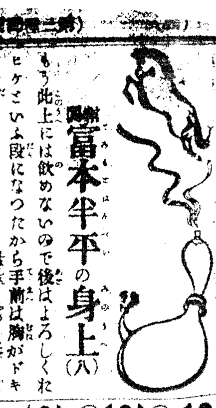
米國紐育
ボーデンス煉乳會社
韓國總代理店を引受け候間此際特に御注文被下度益々御引立の程相願候
大日本橫濱市山下町九十三番
ウイトコスキ商會

精肉並かしわ販賣
開業廣告
今般左記の所に開業致し品質を精撰し特別大勉强にて販賣可仕候間御用命の程奉願上候
京城本町壹丁目五十八番戶(三巴酒店向角)
たから肉店

韓國煙草界ノ大發展ヲ見ヨ
新製品
親箱ノ意匠ガ頗ル高尙ニシテ贈物ニ好適ノ評アリ
定價金三錢 拾貳本入
發賣披露トシテ當分金貳錢五厘
今ヤ母國製品ヨリ優良ナル產物ヲ生シ得

廣江商會 電話五七六番

土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種
京城代理店 歐米雜貨商
京城本町六丁目
岡野商店 電話(五七一番)



講談 富本半平の身上（八）

もう此上には飲めないので後はよろしくれヒケさいふ段になつたから手前は胸がドキワキ出しましたイ、エさ初心の樣な事を言ふ樣でムいますが斯識ばかりは變りはありませんすると女中が鳥渡といふ呼び出しなんですシメたツといふので何だナと立つて往つて見ると女中め手前の耳に口を寄せながら小聲で如何しましよう小冬さんとからたもらひが掛つて來たんですがといふおやアありませんかイヤもう驚きましたれそうかソンナ事なら返すが宜いやア俺の顔でいけねえといふ野暮もいはれまいちやア無いかと立派に言ひ切つた樣なもの〻胸の中はからつきしムシヤクシヤで座敷に歸ると其處にあつたビールのコツプに日本酒をナミ〳〵とついで續けさまに二三杯あをりつけました小冬のもらひが來ると同時に文中の對敵も矢ツ張りもらひといふ事で二人打ち連れて座敷から出て往つて仕舞ひました――紙の彈丸が祟をなして體裁宜く手前は肱鐵砲を喰はされちやつたのでムいますと斯なるとヤケで無暗に酒をあをりつけトウ〳〵何處を如何したのか一向夢中で醉ひ倒れ翌朝になつて目を覺まして見ると文中と一ツ夜具の中にふせつて居たのでア、〳〵此男と一所に寢る位なら何も斯樣に苦勞はしなかつたと思はず愚痴をこぼしますと文中も起きて居て全く俺も昨夜はシかれつれど二人共更に元氣が無い然し何時まで夜具の中にもぐり込んで居る譯にも參りませんからシブ〳〵起き出して顔を洗ひ昨夜の座敷に文中と向ひ合せになつて線氣直しに先つ一口と酒を取り寄せて飲み始めたがサテ如何も面白く無い天井には例の彈丸が其儘に殘つて居る小冬の姿がありありと目に浮んで參るのでムいます未練らしいがもう一度小冬を聘んで見たい樣な氣がして文中に相談を掛けると猪口を手にした儘暫時考へて居ましたが頭腦を左右に振りながら聘ぶのはかまは無いとした所でつまら無いから廢す方が宜からうといふのです夫れを押してもいふ譯には往かず泣寢入の姿でちやア此處に何時まで居たつて仕樣の無い噺だから一先づ切り上げ樣と女中を呼んで勘定書を取つて見るとベラ棒に貴つて居る夫れも其筈で高價いビールをウンと飲んでゐるのですから無理もありませんや其處でなけ無しの財布の底を叩いて勘定を濟ませ其家を立ち出で文中に別れ我家の方に足は向けましたが夫れが爲めに說機に手が付いたのです親父の手前如何も此儘では敷居がまだぎ悪いハテ如何したものと途々考へた末當座の所是に交際てる柳橋の吟中の家へ行うといふので飛び込みました

高等洋服裁縫
西岡支店
京城長谷川町一丁目
西岡本店
東京日本橋區通二丁目十二番地
電話本局二六八九

御旅館並高等下宿
佐藤旅館
京城旭町二丁目（理事廳東角へ入る）
電話八二八番

▲本店の特色▼
材料の精選なること
裁縫の叮嚀なること
直段の低廉なること
期日の確實なること
弊店開業以來各位の御引立に預り日に月に繁榮に趣き候段奉深謝候就ては弊店の勉強は他店に比し直段調製の如何程相違りあるかを御注試あらん事を希望候　敬具
京城長谷川町壹丁目皇壇南横門前
日韓洋服店


京城本町壹丁目
シノサキ商店
營業品目
▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆謄寫版發賣元
▲諸官衙用達▼

電話開通六八四番
京城曙町一丁目
表具師　石川辰次郎

京城
原金旅館
南山町四丁目
長距離電話一〇七番
肅啓向秋淸凉の候各位愈々御淸適の段忝悅至極に奉存候陳者拙者儀今回原金支店の業務一切を讓り受け原金旅館と改稱致し器具其他の設備を改善仕り一層叮嚀懇切に營業を繼續仕候間何卒前同樣御愛顧の程伏て御願申上候先は御挨拶迄如斯に御座候　謹言
原金旅館主　野村吉三郎
謹啓時下殘暑之候に御座候處御華客樣益御淸穆に涉らせられ候段奉欣賀候降而拙者儀開業以來一方ならず御引立を蒙り日増し繁榮に趣き候段奉深謝候就而は今般都合に依り前掲之通業務一切を野村吉三郎氏へ讓渡し候間向後も拙者同樣御引立被成下度奉懇願候頓首
追て仁川原金旅館とは從前の關係はなきものと御承知願上候
元原金支店主　原田政吉


美味にして滋養に富める好飲料
金鵄商牌
二十四回
蜂印香竄葡萄酒
東京　近藤利兵衛


西洋洗濯廣告
時下酷暑の候大方御客樣には益々御勇健奉大賀候降て弊所儀皆々樣の御引立を以て日に年に繁榮に赴き候段難有奉拜謝候弊所は御承知の通り當地に於ける邦人洽西洋洗濯業の嚆矢にして已に二十有餘年來一意專心斯業に從事し叮嚀迅速は普ねく世人の認識せらるゝ所に御座候就ては邦人の發展に鑑み一層業務を擴張し以々勉强可致候間續々御用命被仰附度偏奉希上候也
大韓醫院
漢城病院
各國領事館
御用
京城壽町一丁目
有江洗濯所

電話開通四九壹番
東京　生そば
京城壽町三丁目（高井醫院東隣）
東京庵

株式會社第一銀行
電話番號
第一一番　國庫部、發行部、營業課、當直用
第三一一番　國庫部、發行部、營業課用
第六一一番　支配人、調査部、文書課用
第六二一番　用度係、分析所用
第三二一番　臨時建築部用

明治町三丁目（日韓印刷會社筋向入）
高等御下宿
不二屋
設備完全にして頗る閑靜なり
客扱叮嚀にして官吏、會社員の御方に最も恰適す

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
謄寫版
製本裝訂
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

直輸入外國莨御披露
一トルコ紙巻一エジプト紙巻
一ハバナ葉巻一マニラ葉巻
其他パイプ、ケース、等附屬品一切右嶄新純良品特別廉價販賣仕候間續々御用向ノ程奉希上候
京城本町一丁目
トルコ煙草日希商會
D. C. MENDASCO.

民刑訴訟鑑定
登記漢城府手續
諸願屆代書
土地鑛山測量
集金取立代辨
土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介
京城本町二丁目
民役所前
岡田事務所
取次電話六二四

西洋洗濯業
ローピキ、シャツ、カラ
セル、ラシヤ、和洋服
旭町二丁目理事廳裏
伊丹屋
（電話三七四番）

貸地
一龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側約五千坪
但し五十坪を一區として割貸
右將來多望の地貸附申度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也
京城明治町一丁目
森村太郎
京城本町二丁目
林田金次郎


ヘルプは腸の機能を强め下痢を止む
◎下痢症の理想藥
●我宮内省侍醫にして芳名四海に溢る〻醫學博士柏村貞一先生が深眞の學識を以て腸胃病に關し多年研鑽の結果漸く創製せられたる醫界理想の良劑下痢止めヘルプは
▲直に下痢を止め且つ腸の機能を强ふ
▲腸の消化を助け滋養の吸收力を强む
▲高價藥の錠劑なるを以て効驗神速なり
▲堅き丸藥の如く胃腸を害する慮なし
▲瀬川山口兩博士が効驗の證明せらる
登錄商標
定價　貳拾錢　參拾錢　五拾錢　壹圓
効能
●痢病●腸加答兒●赤痢●コレラ●睡眠あたり●水あたり●食傷●胸焼け●腹氣を催す病症●總て下痢を止め腹痛を治し腸胃を整ふ
又ヘルプを朝夕二粒宛服用すれば腸胃を健全にし恐るべき下痢症に罹る憂なし
●ヘルプは各藥店にあり無くば本舗へ
本店東京日本橋區通四町目（振替一六〇三五番）
支店大阪大寶寺町堺筋南入（振替三一二五番）
本舗　東京　大阪　津村順天堂
ヘルプは腸の消化を助け滋養の吸收力を旺盛ならしむ

日本澤庵
味噌醤油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋　大上商店
（電話二五一番）

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番

京城南大門通
巴商店
電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸　九月廿七日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　十月一日　後一時出
山東丸　九月十五日　前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　九月十日　後一時出
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行
立神丸　九月二日
御注意　御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ艀船場ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十錢▲三ヶ月前金壹圓拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太郎
發行所　京城西署□□□□　京城新報社